

リニア推進特別委員会 所管事務調査報告（令和元年度及び2年度）

委員長	井坪 隆
副委員長	新井 信一郎
委員	竹村 圭史 木下 徳康 永井 一英 木下 容子 清水 勇 吉川 秋利

委員8名で構成するリニア推進特別委員会は、関連する諸課題を付託し、審査することを目的として、リニア中央新幹線の推進に関する諸課題について調査研究を行った。

1 委員会の主な取り組み

(1) 令和2年度に着手する実施設計に向けた本特別委員会としての意見、要望などのとりまとめを目指した調査研究

ア 令和2年2月13日 勉強会の開催

前年に公表されたリニア駅周辺整備概算事業費を例にとり、その財源内訳や専門用語について改めて学ぶ機会とした。

イ 令和2年12月11日 議員研修会の開催

青森大学の櫛引教授を講師に招き、駅周辺整備基本計画を基に「社会的見地からの郊外駅の在り方」「ウィズコロナの時代の新幹線」などをテーマとした講義による研修会

(2) リニア推進ロードマップの実現に向けての調査研究

リニア推進ロードマップの、主に「3本柱」の実現に向けての調査研究

令和2年3月12日 勉強会の開催

リニア推進部の説明による「リニア推進ロードマップ」についての勉強会

(3) 状況及び情報の収集

先進地、事例の視察及び現場の調査研究

関係機関等との意見交換の場の設定

ア 令和元年8月19日 管内視察の実施

発生土置き場、代替地などを視察

イ 令和2年6月17日 勉強会の開催

リニア推進部の説明によるリニア事業の進捗状況についての勉強会

ウ 令和2年6月29日 勉強会の開催

新高岡駅周辺整備事業の実情についての財政課副参事を講師に招いた勉強会

エ 令和2年9月24日 管内視察の実施

座光寺SIC、代替地などを視察

オ 令和3年2月3日 乗換新駅設置に関して臨時の委員会を開催

平成22年3月に「リニア推進対策特別委員会」が設置されて以来、初めて市長の出席を求め、議会と執行機関との相互理解を図るべく、意思疎通を強く求めた。

(4) 議会内での情報共有と議会外への情報発信

特別委員会の協議事項等に関して、議会内外への積極的な情報発信

ア 令和2年12月18日 長野県知事宛てに要望書を提出

リニア中央新幹線の関連事業により移転先の候補を農振農用地とする案件に関し、農振除外手続が円滑に進むための引き続きの協力を要望

イ 令和2年12月21日 飯田市長宛てに要望書を提出

リニア中央新幹線の関連事業により移転先の候補を農振農用地とする案件に関し、①農振除外に関する手続と審査への特段の配慮②事前協議に関する手続の更なる迅速化を要望

ウ 令和2年12月25日 議会報告・意見交換会で出された市民からのご意見等に対して回答を実施

リニア関連事業で市民から寄せられたご意見等に対する委員会の対応状況と今後の方針を委員長からメッセージとして届けた。

2 今後の委員会活動について

令和9年（2027年）のリニア開業が不透明である。

開業遅延はリニア事業全体、またその効果に影響が考えられるため、飯田市においては今後の、駅周辺整備の「実施設計」策定、及びリニア関連事業の推進について、計画通りの進捗が図られることを目指した調査研究を進める不断の努力が求められる。

3 「リニア駅周辺整備実施設計に向けた提案と活動のまとめ」について（別紙「政策提案」参照）